



# 全市民運動として 暴走族追放を!

豊栄市暴走族対策連絡協議会の初会合が、九月四日、中央公民館で開かれました。(写真)

この協議会は、青少年の健全育成と交通秩序の確立を図るため、豊栄警察署、市教育委員会、豊栄地区交通安全協会などの関係機関、団体が連携を密にして、総合的な対策を協議しそれを推進するため設置されたものです。

初会合では、会長に石井耕一市長を選出、委員四十人を含め、これからの、次の三つを推進計画の柱に、全市民運動として暴走族対策に取り組むことなどが決められました。

推進計画の柱

- 暴走行為を許さない世論の盛りあげ
- 暴走行為をさせないための環境づくり等の推進
- 安全運転指導などを通じての健全な交通社会人の育成・指導

## 事業所数は一、九三五 事業所統計調査結果(概数)

昭和五十六年事業所統計調査の結果(概数)がまとまりました。この調査は、三年ごとに行われます。

○事業所数  
市内の事業所数は一千九百三十五で、前回に比べ百八の増加となりました。

産業別事業所数をみると、卸小売業が最高で、四五・四割に当たる八百七十九、次いでサービス業の四百六十六(二三・八割)、建設業三百十九(一六・五割)の順となり、この三産業で全体の八五・七割を占めました。

第三次産業(卸・小売、金融・保険、不動産、運輸・通信、電気・ガス・水道、サービス業)の占める割合は七四・六割と大きく、第二次産業(鉱業、建設、製造業)は二四・八割、第一次産業(農林・水産業)は〇・六割とそれぞれなっています。

○従業者数  
従業者数をみますと九千二百九人で、前回に比べ一千九百九十四人

産業別事業所数					産業別従業者数						
産業別大分類	昭和53年	昭和56年	増減数	対前同増減率	構成比	産業別大分類	昭和53年	昭和56年	増減数	対前同増減率	構成比
総数	1,827	1,935	108	5.9	100.0	総数	7,835	9,029	1,194	15.2	100.0
農・林・水産業	11	12	1	9.0	0.6	農・林・水産業	77	62	△15	△19.5	0.7
非農・林・水産業	1,816	1,923	107	5.9	99.4	非農・林・水産業	7,758	8,967	1,209	15.6	99.3
鉱業	5	4	△1	△20.0	0.2	鉱業	51	66	15	29.4	0.7
建設業	309	319	10	3.2	16.5	建設業	1,553	1,751	198	12.7	19.4
製造業	139	157	18	12.9	8.1	製造業	1,604	1,930	326	20.3	21.4
卸売業・小売業	812	879	67	8.3	45.4	卸売業・小売業	2,649	3,010	361	13.6	33.3
金融・保険業	15	12	△3	△20.0	0.6	金融・保険業	180	173	△7	△3.9	1.9
不動産業	70	64	△6	△8.6	3.3	不動産業	105	105	0	0	1.2
運輸・通信業	29	25	△4	△13.8	1.3	運輸・通信業	232	274	42	18.1	3.0
電気・ガス・水道業	3	3	0	0.0	0.2	電気・ガス・水道業	17	17	0	0	0.2
サービス業	434	460	26	6.0	23.8	サービス業	1,367	1,641	274	20.0	18.2

の増加となりました。

産業別従業者数では、卸・小売業が最高で、全体の三三・三割に当たる三千十八、続いて製造業の一千九百三十八人、建設業の一千七百五十一人の順となり、この三産業で七四・一割を占めました。

増加率で最も高い伸びを示したのは、鉱業の二九・四割、次いで製造業の二〇・三割、サービス業

の二〇割となり、減少は、金融・保険業の一産業だけでした。

○従業者規模別構成  
事業所を従業者規模別で見ると一〜四人が一千四百六十七(七五・八割)、五〜九人が二百七十七(一四・三割)となり、十人未満の事業所が全体の九〇・一割を占めています。また、十八以上三十八人未満の規模事業所数は百五十と

なり、さらに三十人以上の大規模事業所数は四十一となり、いずれも前回より増加しました。

○産業別一事業所当たり従業者数  
事業所の経営規模を事業所当たりの従業者数で見ると、平均は四・七人で前回の四・三人に比べ、四・四人増加しています。

○産業別では、鉱業の十六・五人を最高に、金融・保険業の十四・四人、製造業の十二・三人、運輸・通信業の十一人の順となっています。

その他の産業は、いずれも十人未満で、不動産業が最も少ない一・六人となっています。

○従業者の地位からみた産業別従業者数  
従業者の地位別にみた従業者数の割合は、常時雇用者が五千四百十八、個人業主一千四百二十八人、家族従業者九百三十七人、臨時・日雇八百四十五人、有給役員六百七十九人と続いています。

### 豊栄市と新発田市との境界の一部を変更

市の松影地帯の一部が新発田市佐々木地内にあり、万十郎川に沿った新発田市の一部との交換が市議会三月定例会で議決されましたが、九月一日付で官報に告示されました。

このことにより、市の面積は七六・三六平方キロから七七・〇三平方キロになりました。



## 飼料用稲を 耕作しては...

「エサ用としての稲をつくってみてはどうでしょう」と九月一日飼料用稲の研究集会所が開かれ、関係者が耕作者の田を視察しました。(葛塚東小学校付近)

### たが今工事中



- (工事名、請負者、契約金額、完成予定日、施行地の順。契約金額百万円以上)
- 住良団地支線竹ノ通線改良工事、(有)進興建設、四百万円、十月八日、上土地亀
- 杉名下水路枝線整備工事、上杉組、四百二十万円、十月十六日、嘉山
- 早通下水路南枝線整備工事、

- 石山組、三百九十九万円、十一月五日、伝伝
- 市営運動場土留工事、(株)鈴木組、三千万円、十二月二十三日、早通及び木崎
- 市営軟式野球場新設工事、(株)皆川組、七千万円、五十七年三月二十八日、早通及び木崎
- 市営運動場附帯道路工事、(株)品田組、五百七十万円、十一月十三日、早通及び木崎
- 岡方中学校体育館補修工事、(株)豊施工、五百九十二万円、九月二十五日、太子堂
- 長戸呂線十四号舗装工事、丸運建設(株)、四百三十万円、十月六日、長戸呂
- 笹山、下大谷内線第一期改良舗装工事、中野建設工業(株)、三

- 百九十九万円、十月六日、高山
- 防火井戸設置工事、池田工業所、二百八十五万円、十月六日、里飯野外十一か所
- 新鼻地区第一工区道路復旧工事、(株)品田組、二百九十五万円、十月六日、新鼻
- 鷺津大月線一号舗装工事、(株)加賀田組、二百二十五万円、十月十一日、鷺津
- 葛塚小学校通学路歩道橋架設に伴う設計委託、(株)協和コンサルタント新潟営業所、三百三十五万円、九月二十九日、上土地亀
- (水道事業)
- 給水管引込線布設替工事、(有)盛共社、百四十万円、十一月十七日、法花鳥屋